

# 食虫植物の消化液における酵素活性および抗菌性評価

日本分析化学専門学校

医療からだ高度分析学科

有村 拓紀 竹浦 政光

野田 悠也 水野 太貴

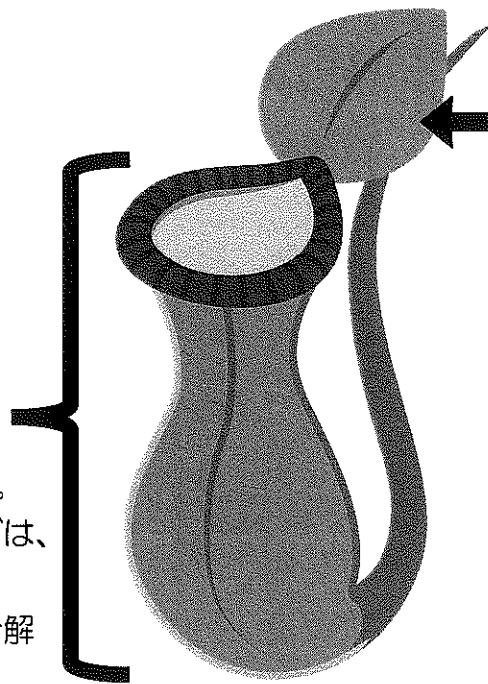
## 1. 背景

約 400 種類ある食虫植物の中でも、ウツボカズラなどの落とし穴式の食虫植物が持つ消化液に着目した。これらの食虫植物が自生している地域の住民は、その分泌する消化液を経験的に飲んでおり、身体に何らかの効果を与えていると考えられた。この研究用にも栽培することが難しいウツボカズラをフラワーセンターのご協力を得て、これらの消化液における酵素活性と抗菌性評価を行った。

## 2. ウツボカズラについて

### 捕虫(袋)器

下部で消化液が分泌。  
分泌されるタイミングは、  
種によって異なる。  
微生物の力を借りて分解  
する種も存在する。



### 捕虫葉

ここに誘引物質が  
分泌される。甘い香、  
腐敗臭など。

## 3. 今後の課題

多くの種類があるが、サンプルを確保するのが難しく、細かい生態は分からないことが多い。特に昆虫などの小動物の消化に関わるpHの変動については、色々な研究例があるが、不明な点が多いため、じっくりと生きているウツボカズラを育てながら、細かく観察する必要がある。